

ご挨拶

日本心臓リハビリテーション学会第6回中国支部地方会 会長
山口大学大学院医学系研究科 保健学系学域 病態検査学 教授
山本 健



日本心臓リハビリテーション学会第6回中国支部地方会を開催させていただくにあたり、ご挨拶を申し上げます。

整形外科の手術後や脳卒中の患者さんのものと思われていたりリハビリテーションが、循環器疾患において様々な効果があるというエビデンスが積み重ねられ、今日に至って、心大血管リハビリテーションは非常に重要な治療介入の1つとして、その地位を確立しています。高齢者が増え、心不全患者が増えているなか今後その重要性は益々増しています。特に今年は「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」に基づき「循環器病対策推進基本計画」が策定されましたが、その中でもリハビリテーションの取り組みが重要視されています。

一方で今年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、多くの学会が中止、延期となりました。このような中でも、私たちは情報交換をして、確実に前進する必要があると考え、今回オンラインという形になりましたが、学会の開催をさせていただくこととなりました。今回は特別講演に久留米大学 心臓・血管内科 柴田龍宏先生をお迎えし、柴田先生が取り組んでおられる心不全緩和ケアについてのお話をさせていただくことといたしました。また、メディカルスタッフコアメンバーの方々のご提案で、「コロナ禍での外来心リハの工夫」と「循環器病対策推進基本計画においてメディカルスタッフの果たす役割」の2つの特別プログラムを開催させていただくこととなりました。優秀演題アワードは医師、コメディカル混在で行わせていただくこととなりました。

今回の学会が心臓リハビリテーションに取り組まれる多職種のスタッフの皆様の心臓リハビリテーションの発展に少しでも寄与できたらと考えております。多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。